

口座凍結された

その日から読む本

口座凍結対策マニュアル

2024年上半期版

Second half of 2024 edition

はじめに

このレポートを手にとっていたいただいたということは
何らかの形で凍結されたということでしょう。

純粹に利益額で凍結されなのならば、
おめでとうございます。

また何らかの規約に反し、ハイローから一方的な口座凍結を受けてしまった場合は2度と同じ目に合わないために正しい知識を身につける必要があります。

本レポートでは
「口座凍結されたその日から読む本」をテーマに
凍結に対する対策法をケースごとに
ご紹介しております。

※また当レポートの内容は業者の仕様変更に伴い
現在の状況とは異なる場合がございます。ご了承くださいませ

HighLowからされる制限の種類



ハイローから行われる措置には主に4種類あります。

出金延期→口座凍結

→取引のキャンセル→強制口座解約

でよくある順、軽い順になっています。

キャンセルと強制解約は、自動売買や複数IP、集団取引などの特殊なケース以外はほとんどないです。

それぞれの起こる原因と実際のケース、対策法を解説してきます。

出金拒否の種類

出金拒否には

- ・まとまった額を出金すると1週間程度、長いケースで2週間程度の調査が入ることで出金が先延ばしにされるライトな出金拒否
 - ・何らかの規約違反行為を行ったことで1ヶ月以上の出金拒否が行われてしまう重めな出金拒否
- の2種類があります。

ハイローの場合は、

どちらの出金拒否であっても最終的に、

正しい対処法を行えば出金できることが大半です。

誰でも起こる出金拒否

ライトな方の出金拒否（延期）

について解説します。

10万円以上のまとまった額を出金すると一度「**調査**」という形で出金が保留されるメールが届きます。

このときに業者の規約に抵触する行為をしてないのかの調査が一度入ります。

これはどんな取引を行っていても起こるものであり、メールが初めて来ると「出金拒否されたのではないか」とビビってしまいますが、大抵の場合、1週間後には問題なく出金できるので問題ありません。

またこちらから何かお問い合わせする必要は特にありません。

誰でも起こる出金拒否

稀に調査により、自動売買や複数IPなど凍結事項に触れていることが発覚して、後述の凍結に繋がっていくケースもございます。

この場合も後述の対策法に則った正しい対策が必要となります。

またこの本来問い合わせの必要のない出金延期でハイローに感情的な内容のメールを送ったり執拗にハイローに問い合わせを繰り返してしまったことで、凍結額まで早まったり、凍結されてしまう事例が散見されています。

この段階では焦らず冷静に凍結が解除されるのを待つようにしましょう。

誰でも起こる出金拒否

実際に来たメールの抜粋

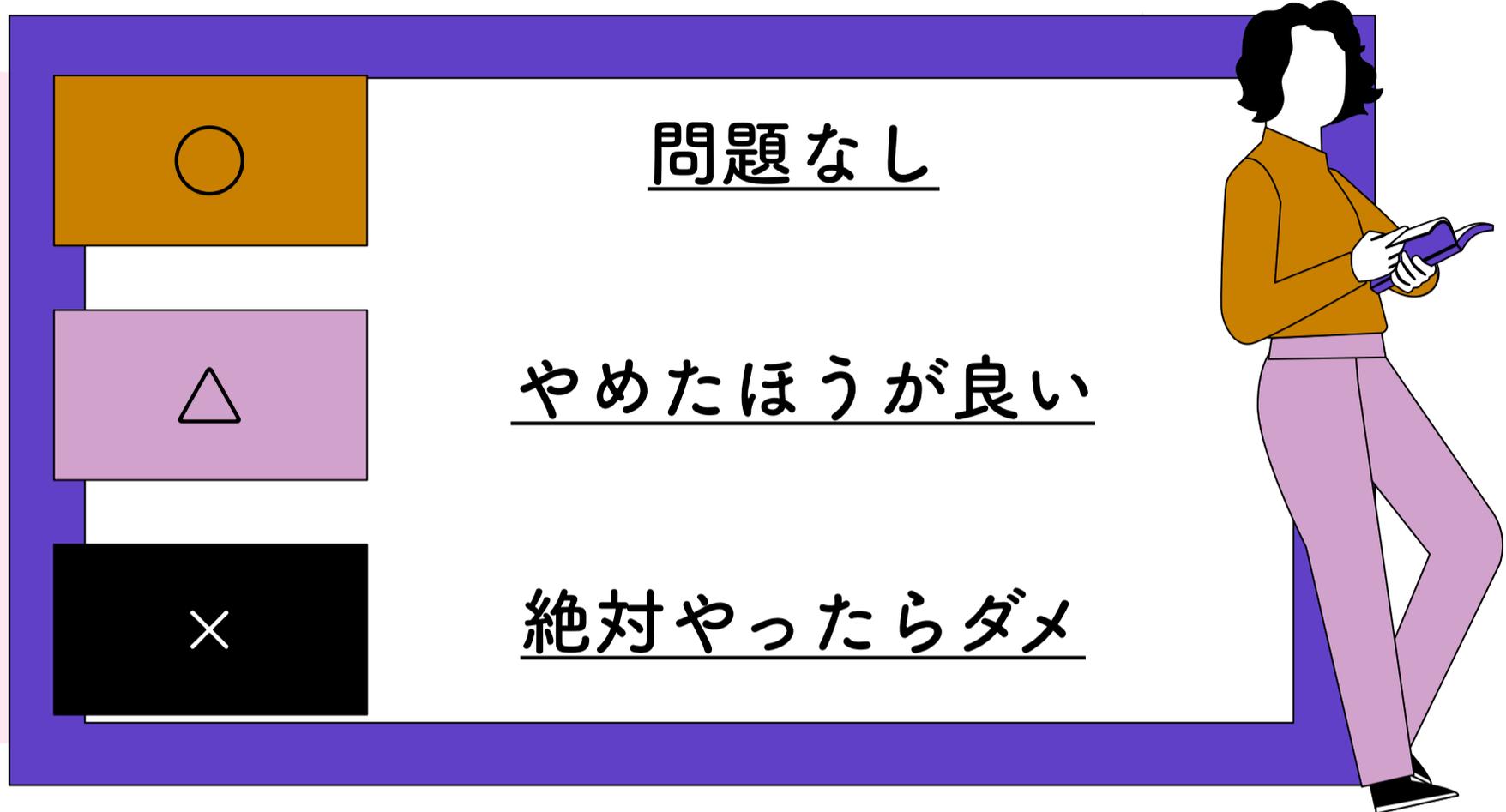
平素よりご利用いただき、誠に
ありがとうございます。

お客様の取引口座についてですが、当社の
リスク管理部門およびコンプライアンス部門において
当社の[利用規約](#)に抵触した虞があるため、
調査対象となりました。当社規定の厳しい
リスク管理方針の要件に順守させて頂いた上での
決断であります故、どうかご理解いただきたく。

つきましては、取引口座について精査する
必要があるため、取引及び、入出金を一時的に
制限させて頂いております。調査が完了次第、
速やかにメールにて結果を通知させていただきます。

お客様の安全性と危機管理を最優先に考慮して
おります。ご迷惑をお掛けいたしますが、
ご理解のほど、宜しくお願いいたします。

口座凍結



口座凍結や後述の出金拒否、強制口座解約につながってしまう原因をご紹介します。

凍結される原因一覧

利益凍結型 (○)

どんな手法、どんな取引でも一定の利益を出すと必ず凍結されます。

2023年現在500万前後で凍結される報告多

出金と入金を頻繁に繰り返して凍結 (▲)

なんども入金と出金を繰り返すとマークされて、凍結対象にされやすくなります。

短期取引凍結 (×)

30秒取引/1分取引で勝ちまくると「不正な取引」とされ利益が取り消された事例あり。

理不尽ですが、とにかくTurbo取引はやらないようにしましょう。

凍結される原因一覧

IP凍結（×）

同じアカウントに対して

複数デバイスからログインすると凍結されます。

自宅のPCでログインしているのに、会社からもログインしてしまうなどがないようにしましょう。

出金拒否事例あり。

自動売買凍結（×）

レベルの低い自動売買を使うとすぐ凍結されます。

要はあからさまに自動売買とわかる挙動を行うと凍結されてしまうということになります。

（例：1日16時間以上取引しっぱなしを週5回など）

私も自動売買を運用していますが、現在の凍結されない完成品バージョンができるまでに50台以上凍結をくらってます。

凍結される原因一覧

エントリー代行ツール型凍結（×）

最近、MT4から自動でハイローにエントリーをしてくれる「エントリー代行ツール」が流行っているようです。が、実際のクリック挙動を見たところランダム化されていなかったり、極めて機械的な動きでしたので、避けた方が良いと思います。

遠隔操作ソフトによる凍結（×）

チームビューワーなど遠隔操作アプリを使って出金拒否されるという事例がいくつか出ています。

凍結されにくくなる方法

2024年現在、凍結の鍵を握るのは

「いかに業者にマークをされないか」です。

マークされやすいタイミングと行動はいくつかあって、それさえ避ければ凍結されにくくなります。

一番されやすいタイミングは「**出金申請**」

ハイローは出金申請の承諾を手動で行っており
おそらく申請を承諾する際に、取引履歴を
チェックしています。

この時に短期取引の有無/取引履歴/IP/ベッド額
全て見られている可能性が高いです。

凍結されにくくなる方法

具体的に私がこれをやると

「凍結されやすくなる」と感じたものを紹介します

- ・ 20万エントリーはしない（10万×2にする）

→凍結されやすくなります

- ・ 低額での連打はしすぎない

→20万エントリーほどではありませんが、凍結されやすくなるのと、単純に勝率が下がります。

- ・ 複数端末で同じアカウントにエントリーしない

→出金キャンセル事例あり

- ・ 凍結前のアカウントと2つのアカウントを

同じWifiを使ってログインしない

→凍結（エントリー制限）が掛かるまでの額が早くなることが多いです。

以上のことを気をつけてみてください。

凍結された時の対策の原則

出金拒否や凍結などの旨を伝えるメールが業者から来た場合、

こちらからできることは

「取引に不当がなかったことを客観的な事実に基づいて指摘し、抗議メールを送る」のみとなります。

感情的なメールをしつこく送っても業者に

「やばい人認定」されて、メールが返ってこなくなる
ことがありますので、あくまで冷静に、客観性を心がけましょう。

また電話にてお問い合わせをする方がよくいらっ
しゃいますが、

基本的に外部委託のコールセンターのような方が出る
のみで、業者の方が対応してくれるわけではないの
で、門前払いされる確率が極めて高いです。

凍結対策テンプレート

当レポートでは、抗議メール用の
「**出金テンプレート**」をご用意しております。

最近凍結されている方もかなり増えてきています。

テンプレートをそのままコピーして
何度も使ってしまうと、テンプレートの有効性が薄
れてしまう可能性がありますので、
最終的にメールを送るときには、
これを丸々コピーするのではなく
テンプレートはあくまで「お手本」として
ご自身の言葉に直していただくように
お願いいたします。

直接ケースごとの個別相談も可能ですので
お気軽にご連絡ください

取引のキャンセル

さきほど解説した、×に該当するものを行ってしまうと、場合によってはハイローから過去の取引履歴を遡って一部取引をキャンセルされる場合があります。

またキャンセルが起こった場合、同時に出金の拒否、延期が一緒に起こる傾向にあります。

ここまでされるケースは稀ではありますが、「実際に正しい凍結知識を知らないまま、色んなエントリーをしてしまっただけで取引がキャンセルされた」と凍結の相談に来られる方はいらっしゃいます。

特に集団取引、自動売買は注意が必要です。

取引のキャンセル

実際に来たメールの抜粋

集団取引による違反行為が発覚しました

お客様

当社リスク管理部門はお客様の口座において、禁止行為があったと確認できました。

これは、当社の契約条件に違反したことになります。

禁止行為に抵触した取引はキャンセルされ、オプション購入の資金は取引口座に返還いたします。

取引オプション、並びに返金がかはすべて取引履歴の口座詳細検索機能にて取引番号を照らし合わせて、ご確認ください。

違反行為に抵触する取引機は直ちにお止めください。改善が認められない場合は、強制解約を視野に入れ然るべき処置を講じてまいります。ご了承願います。

取引のキャンセルの対策

テンプレート

お世話になっております。〇〇です。

口座番号 | HN0000

先日の出金のキャンセルについて、そしてハイロー内での口座の残高が「万円」から「万円」へと変更され、2020年月日～月日までの取引分の判定取り消しについてお伺いしたいことがあり、ご連絡させていただきました。

・「取引口座での活動が懐疑性を持つものであり、御社の契約条件に抵触しているとのこと」ですが、具体的に「口座契約条件」のどこに触れたのかお聞かせ願えますでしょうか。（基本教えてはくれませんが、一応）

・また本当に不正行為をした覚えがないため、再調査していただけますでしょうか（心当たりがあっても、再調査希望の旨を伝える）

・また勝ちトレードのみが取引キャンセルされていて、負けトレードのみキャンセルされないのは不当では無いですでしょうか

・現在の口座残高〇〇円を出金できない理由についてお聞かせ願えますでしょうか。（出金できない場合のみ）

お手数おかけしますが、ご回答お願い致します。

複数アカウントを運用するには？

複数アカウントを運用する場合は、
原則1人1アカウントまでしか作れないため
他人名義のアカウントを用意する必要があります。

また入金是谁の銀行口座からでもできますが、
出金は口座名義人の銀行口座からでないといけない
ため、家族、友人など
信頼できる人間に頼む必要があります。

また他人のアカウントを使うこと自体は
ハイローアカウントというのは日本の法律上
扱いがゲームアカウントと同じなので、
全く問題がないということを確認済みです。

(イメージとしては、
友達のゲームアカウントを借りて使っているような状態)

複数アカウント運用時の注意点

1つのIPで複数アカウントを運用し、出金をされるとがマークされる場合があります。

5口座以上を運用する場合には
フレッツ光IP8/16（1つの回線でIPを複数持てる）
そして複数のデスクトップを用意するのが推奨です。

また自動売買の場合はVPS（仮想サーバー）等
を使っても良いかと思えます。

**私は特殊なルートを経て
複数アカウント調達しております。**

もし新たに口座が必要な場合、特殊なルートをご紹介することも可能ですので、お申し付け下さい

強制口座解約

違反行為を複数回繰り返すと

「強制口座解約」の措置が取られます。

こちらは、例えば

一度「自動売買するなよ」と警告をもらった後に
また自動売買を行なった場合などに
強制口座解約になります。

強制口座解約された場合にできることとしては

**「出金拒否された分を出金させることはできる
が、強制口座解約自体をなかったことにすることは
できない」**というのが私の結論になります。

強制口座解約

実際に来たメールの抜粋

口座の解約について

平素よりご利用いただき、誠にありがとうございます。
当社リスク管理部門および、コンプライアンス部門より、お客様の取引の調査が完了いたしましたので、こちらにて報告いたします。

慎重に調査しましたところ、お客様の取引は不規則かつ、当社の利用客に抵触している事が判明しました。

その結果、弊社の契約条件、その他の法的書類にも記載されている行使権を使用し、お客様のお取引をキャンセルさせて頂く運びとなりました

尚、残念ながらお客様の取引口座を解約させていただきました。今後も、新規の口座解約は出来かねますので、ご了承ください。

今後7営業日以内に、取引口座の全残高をご出金ください。マイページにて出金時の銀行情報をご登録されていない場合は、ご登録された後、出金依頼を行なってください。7営業日が経過しても残高が取引口座に残っている場合は、指定された銀行口座に全残高が出金されます。ご理解のほどよろしく願いいたします。

最後に

バイナリーと凍結との戦いというのは
正直面倒で地道なものです。

ただこれだけ面倒で、誰も正しい知識を知らないか
らこそ、**優位性**があるのです。

「人のいく裏に花あり」

これはトレードの格言で、
バイナリーの世界にも当てはまります。

純粹な利益凍結で

凍結されるぐらいの額を運用しているのならば
同時並行でFXを始めても良いと思います。

(FXも口座凍結等業者との戦いはありますが…)

最後に

バイナリーは凍結されてからが本番です。

凍結の正しい知識を身につけ、
ここまで培ってきた再現性のある手法と
正しい期待値計算をもとに
自分がどこまで通用するのか

プロフェッショナルな投資家としての道を
歩んでいっていただければと思います。

このレポートを最後まで読んでいただいた
あなたのご躍進を心より願っております。